

## (6) 窯業・土石製品製造業

### ◆ 概要

平成 22 年の工業統計調査結果報告（従業者 4 人以上の事業所）によると、事業所数は 90 所で、前年比較では 12 所減少（対前年増加率△11.8%）している。従業者数は 1,184 人で、前年比較では 41 人減少（同△3.3%）しており、また製造品出荷額等は 333 億 77 百万円で、前年比較では 50 億 30 百万円増加（同 17.7%）し、事業所数、従業者数はいずれも減少したが、製造品出荷額等は増加している。

京都市の製造業に占める窯業・土石製品製造業の割合は、事業所数が 3.3%、従業者数は 1.8%、製造品出荷額等は 1.5%となっている。

平成 13 年からの推移を見ると、事業所数及び従業員数は緩やかに減少傾向を続けている。製造品出荷額等は、平成 14 年まで増加傾向で推移していたが、その後減少に転じ、平成 21 年に大幅に減少した。これは、製造品出荷額の半数以上を占める板ガラス加工業の出荷額の減少が大きく影響したためである。平成 22 年は、前年に大幅に落ち込んだ反動から板ガラス加工業の出荷額が増加に転じ、窯業・土石製品製造業全体の製造品出荷額は増加した〔表Ⅱ-3-6-1、図Ⅱ-3-6-1〕。

### ◆ 市内の窯業・土石製品製造業の特色

窯業・土石製品製造業の製造品出荷額等を産業細分類別に見ると、板ガラス加工業が 185 億 59 百万円（構成比 55.6%）で最も多く、次いで生コンクリート製造業の 68 億 5 百万円（同 20.4%）、理化学用・医療用ガラス器具製造業の 14 億 47 百万円（同 4.3%）の順となっている。

3 事業所のみ板ガラス加工業が製造品出荷額等の半分以上を占めており、これらの事業所の出荷動向が全体に大きく影響していると言える。

平成 20 年 9 月のリーマン・ショック以後の世界同時不況による影響により、板ガラス加工業の出荷の大きなシェアを占める建築用ガラスや自動車ガラスなどの需要は大幅に減少し、平成 21 年の出荷額は平成 20 年の出荷額（285 億 3 百万円）と比べて 128 億 23 百万円減少した。その後、平成 22 年には建設需要の下げ止まりや自動車生産台数の増加などにより平成 21 年の出荷額（156 億 80 百万円）と比べて 28 億 79 百万円の増加に転じている。

一方、事業所数では、食卓用・ちゅう房用陶磁器製造業が 31 所と約 3 割強を占めている。1 事業所当たりの平均製造品出荷額や従業員数は少ないものの、京都市の伝統産業である京焼・清水焼などの窯元が点在し、多くの事業所が存在することが特色といえる〔表Ⅱ-3-6-2〕。

表Ⅱ-3-6-1 窯業・土石製品製造業の事業所数、従業者数、製造品出荷額等の推移

（単位：所、人、百万円）

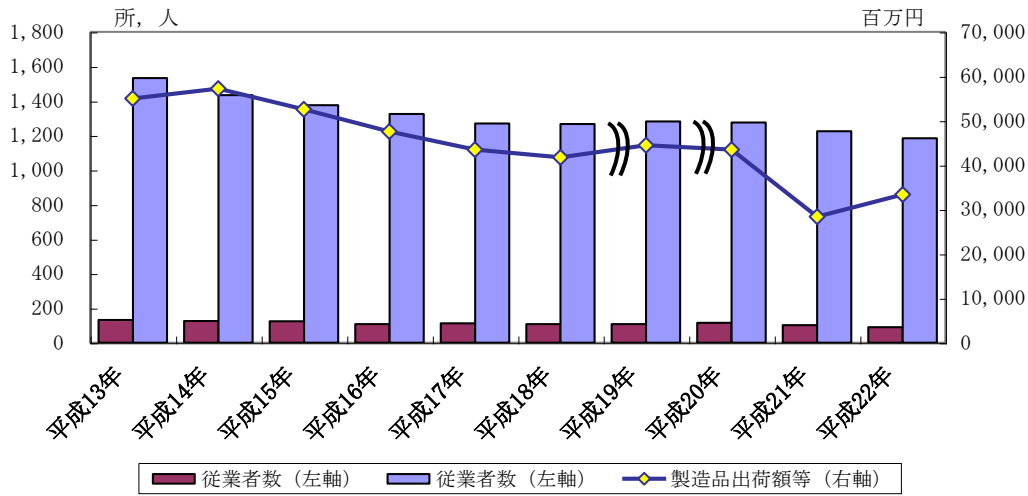
	事業所数	従業者数	製造品出荷額等
平成 13 年	131	1,533	55,021
平成 14 年	126	1,434	57,233
平成 15 年	124	1,376	52,541
平成 16 年	108	1,325	47,566
平成 17 年	112	1,269	43,492
平成 18 年	107	1,267	41,737
平成 19 年	108	1,281	44,480
平成 20 年	115	1,275	43,490
平成 21 年	102	1,225	28,347
平成 22 年	90	1,184	33,377

資料：京都市総合企画局「平成22年工業統計調査結果報告（従業者4人以上の事業所）」

注：平成19年調査で調査項目を変更したため、製造品出荷額等は前回の数値とは接続しない。

注：平成20年で一部産業分類の改定が行われたため、前年調査の数値とは接続しない。

図Ⅱ-3-6-1 窯業・土石製品製造業の事業所数，従業者数，製造品出荷額等の推移



資料：京都市総合企画局「平成22年工業統計調査結果報告（従業者4人以上の事業所）」

注：平成19年調査で調査項目を変更したため，製造品出荷額等は前回の数値とは接続しない。

注：平成20年で一部産業分類の改定が行われたため，前年調査の数値とは接続しない。

表Ⅱ-3-6-2 窯業・土石製品製造業の主な産業（細分類）別事業所数，従業者数，製造品出荷額等  
(単位：所，人，百万円，%)

	事業所数		従業者数		製造品出荷額等	
	数	構成比	数	構成比	数	構成比
窯業・土石製品製造業	90	100.0	1,184	100.0	33,377	100.0
板ガラス加工業	3	3.3	361	30.5	18,559	55.6
生コンクリート製造業	8	8.9	116	9.8	6,805	20.4
理化学用・医療用ガラス器具製造業	5	5.6	85	7.2	1,447	4.3
食卓用・ちゅう房用陶磁器製造業	31	34.4	227	19.2	932	2.8
電気用陶磁器製造業	3	3.3	55	4.6	798	2.4
砕石製造業	3	3.3	41	3.5	776	2.3
その他のガラス・同製品製造業	3	3.3	20	1.7	347	1.0
石工品製造業	5	5.6	31	2.6	330	1.0
鉱物・土石粉碎等処理業	3	3.3	21	1.8	231	0.7
研削と石製造業	3	3.3	19	1.6	184	0.6

資料：京都市総合企画局「平成22年工業統計調査結果報告（従業者4人以上の事業所）」

なお，細分類については主なものを取り上げている。